

(1) 館林市議会だより (令和6年5月1日)

たてばやし 市議会だより 第228号

編集：館林市議会報編集委員会

新型コロナウイルス
感染症情報はこちら



3月
定例会
令和6年度 館林市一般会計予算
など23議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし 2～3ページ
- 予算特別委員会 4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表 5ページ
- 一般質問 (11人) 6～11ページ
- 第1回臨時会 12ページ



館林市議会ホームページ
<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikakai/index.html>

「鯉のぼり」橋本喜男さん応募作品



本会議のあらまし

令和6年館林市議会第1回定例会は、3月1日から3月21日までの21日間の会期で開かれました。この定例会に市長から提案された議案等は、追加議案も含め24件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、可決されました。

人事案件

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
 Ⅱ人権擁護委員の奥澤京子さんが、本年6月30日をもって任期満了となるが、再推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
 Ⅱ人権擁護委員の服部覚さんが、本年6月30日をもって任期満了となるが、再推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

条例の制定

▽館林市犯罪被害者等支援条例Ⅱ犯罪被害者等に対する支援を総合的に推進することにより、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復等を図り、市民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

条例の改正

▽館林市個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例Ⅱ行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、用語の追加及び修正を行うため、

本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例Ⅱ国立大学法人法の一部改正に伴い、条ずれに対応するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市公園競技施設管理条例の一部を改正する条例Ⅱ城沼総合体育館の空調設備設置による光熱水費等の負担増に対応するため、同体育館の使用料の額を改定するほか、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

(※本案は総務文教常任委員会において、賛成少数で否決すべきものと議決されています。)

▽館林市介護保険条例の一部を改正する条例Ⅱ主に、令和6年度から令和8年度までの保険料率を改定するため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成

多数で可決すべきものと議決されました。

▽館林市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽館林市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽館林市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

▽館林市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Ⅱ以上、4議案については、それぞれ、関連する国の基準の一部改正に伴い、事業所の運営規程の概要等の重要事項について、書面掲示

に加え、ウェブサイトへの掲載及び公表を事業者に義務づけるなど、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、4議案とも、全員一致で可決されました。

◆追加議案

▽館林市税条例の一部を改正する条例Ⅱ地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、能登半島地震災害により、家財等の資産に生じた損失金額を令和6年度個人市民税において、雑損控除の適用対象とすることができる特例を設けるため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議についてⅡ群馬県市町村公平委員会を共同設置する団体間において、共同設置規約を変更する協議を行うことについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求められたもので、

全員一致で可決されました。

▽市道8505号線橋梁下部工事請負契約の締結について
市道8505号線の新設に伴い、橋梁の設置工事請負契約を締結するに当たり、議会の議決に付すべし契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽大志辺跨線橋補修工事基本協定の締結について
大志辺跨線橋の老朽化に対応するため施工する補修工事の基本協定を締結するに当たり、議会の議決に付すべし契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の変更について
当初の設計と現況との相違による設計の変更等に伴い、契約金額を変更するため、議会の議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽和解及び損害賠償の額を定めることについて
市内中学校における部活動中の事故に関し、損害賠償の額を定め、相手方と和解することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求められたもので、全員一致で可決されました。

▽令和5年度館林市一般会計補正予算(第9号)
令和5年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
全員一致で可決

補正予算

▽館林市議会議員の請負状況の公表に関する条例
本市議会議員が本市に対し請負をする者等である場合、その請負状況を公表すること等により、透明性を確保し、もって議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、本条例を制定しようとするもので、全員一致で可決されました。

議員提出議案

▽令和6年度一般会計予算
令和6年度一般会計予算の総額は、3年連続で過去最大となる308億5000万円、前年度比3.5%の増となっています。

令和6年度予算

また、特別会計(下水道事業会計を含む4会計)予算の総額は、189億2592万5000円、前年度比2.6%の減となっています。(詳細についてはページに掲載)

常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、議案5件で、館林市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例、館林市犯罪被害者等支援条例、城沼総合体育館空調設備等改修工事請負契約の変更について、和解及び損害賠償の額を定めることについての4議案は、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決され、館林市公園競技施設管理条例の一部を改正する条例は、賛成少数により否決すべきものと議決されました。

市民福祉

また、特別会計(下水道事業会計を含む4会計)予算の総額は、189億2592万5000円、前年度比2.6%の減となっています。(詳細についてはページに掲載)

経済建設

付託された案件は、市道8505号線橋梁下部工事請負契約の締結について、大志辺跨線橋補修工事基本協定の締結についての議案2件で、採決の結果、2議案とも全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、緑のまち推進課より、館林市緑の基本計画策定についての報告がありました。

そのほか、議会から推薦する各種委員会等委員のうち、館林市労使教育委員会委員に川村幸人議員を館林市都市計画審議会委員に川村幸人議員、池森のり子議員を選出しました。

予算特別委員会

3月4日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和6年度一般会計予算をはじめ、3つの特別会計予算、下水道事業会計予算が付託され、11日・12日・14日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算及び特別会計予算は賛成多数で、下水道事業会計予算は全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市長の提案説明による主要な施策

『危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち』

非常用品の計画的な備蓄に加え、トイレ用テントや非常用トイレセットなどの避難所備品類の充実を図るほか、自主防災組織を引き続き支援するとともに、防災情報伝達システムを活用し、地域における防災力の向上に努めていきます。また、地域における防犯対策として、行政区が設置する防犯カメラの設置費用を補助し、安全安心なまちづくりを推進していきます。さらに、電気自動車充電システムの設置費用を補助するなど、たてばやし5つのゼロ宣言に基づく施策を推進していきます。

『地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち』

高校生世代までの医療費無料化を引き続き実施し、子育て支援を推進するほか、生活困窮者自立支援事業を実施し、生活に困窮されている方に対し、早期の自立促進を図るとともに、支えあう地域づくりを推進していきます。また、緊急通報装置の設置や介護慰労金の支給を引き続き実施し、高齢者の在宅生活を支援していきます。さらに、50歳以上の方を対象とした带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成するなど、予防接種事業の推進に努めていきます。

『育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち』

南こども園の新築工事を実施し、引き続き認定こども園化を推進するほか、妊婦初産科受診料を助成し、妊婦の状況を早期に把握し必要な支援につなげるとともに、妊娠・出産包括支援事業において、子育て支援誕生祝品の給付や産後ケア事業の利用料を無料化するなど、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進していきます。また、新たに中学3年生の学校給食費を無料化するとともに、学校給食の食材費高騰に対応するため、1食当たり30円分を補填するなど、子育て世代の経済的支援及び少子化対策に努めます。また、ダノン城沼アリーナの空調設備等改修工事、エレベーター設置工事の設計などを実施し、公共施設の整備を推進していきます。さらに、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生かした体感型の事業を展開するほか、来訪者の満足度向上と回遊性強化を図るため、「里沼」来訪者数を調査・検証するなど、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人口の増加を図っていきます。

『都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち』

企業誘致と市内企業の活性化による税収、定住人口の増加を図るため、引き続き産業団地等の整備に取り組むほか、ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、地域の農業者や関係機関との連携・協議を推進していきます。また、Uターン支援奨励金及び定住新卒就職者奨励金において、奨学金の返還金の一部補助を追加し、若者の市内企業への就職を促進するほか、企業紹介ガイドブックを作成し、雇用の確保と安定、及び定住促進に努めていきます。また、デジタル地域通貨発行事業において、登録店紹介キャンペーンを実施し、利用者の利便性の向上と地域経済の活性化を図るほか、小規模事業者経営改善資金利子補給金を創設し、中小企業等の経営の安定化を支援していきます。さらに、市内生活路線である（仮称）渡瀬東西線を整備し、地域公共交通計画に基づくまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの再構築を推進するほか、都市再生整備計画に基づいた太陽の園改修工事や、官民連携によるエリアプラットフォームを構築し、まちなかにぎわいと活性化を図り、ウォーカブルなまちづくりに取り組むとともに、まちづくりマネジメント法人へ運営費を補助し、官民連携による公的不動産を活用した市街地推進に努めていきます。

『公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち』

市制施行70周年を記念して、記念式典をはじめ、向井千秋記念子ども科学館特別企画事業などの記念事業を実施します。また、移住定住ウェルカム支援金を創設するとともに、わくわく地方生活実現支援金や市有地活用移住定住支援金、定住促進通学支援金、館林ライフスタートアップ支援金を引き続き支給し、移住定住の促進を図っていきます。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努めるとともに、本市の特産品を返礼することにより地域振興を図っていきます。さらに、書かない窓口システムの導入と庁舎1階の窓口レイアウトを変更し、全ての市民にとって簡単・便利・親切的な窓口サービスの提供に取り組むほか、高齢者などを対象としたスマートフォン教室を引き続き実施し、デジタル機器・サービスの活用を支援するとともに、公式LINEなどによる申請手続や情報発信の充実を図るなど、デジタル化による行政サービスの向上に努めていきます。

令和6年度一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,483,845	37.2	総 務 費	2,689,747	8.7
地方交付税	3,230,000	10.5	民 生 費	11,293,355	36.6
国庫支出金	4,272,091	13.8	衛 生 費	4,060,796	13.2
県 支 出 金	2,074,763	6.7	商 工 費	1,796,024	5.8
繰 入 金	2,733,784	8.9	土 木 費	3,473,010	11.3
諸 収 入	1,629,130	5.3	教 育 費	3,559,359	11.5
市 債	1,822,800	5.9	公 債 費	2,222,969	7.2
そ の 他	3,603,587	11.7	そ の 他	1,754,740	5.7
計	30,850,000	100.0	計	30,850,000	100.0

一般会計予算は
3年連続で過去最大となる
総額308億5000万円

令和6年度特別会計予算

会 計 別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	8,039,273	
介護保険特別会計	6,951,427	
後期高齢者医療特別会計	1,285,240	
下水道事業会計	収益的支出	1,525,127
	資本的支出	1,124,858

令和6年第1回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議席番号 議員名 議案等名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果	
	小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口きく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三		
諮問第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦につき同意
諮問第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦につき同意
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※権田昌弘議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！

ホームページ

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>
市議会トップページ▶

◀ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら▶

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※3月定例会の会議録は6月上旬頃掲載予定です。

一般質問

今定例会における一般質問は、3月5日・6日の2日間にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をいただきました。内容は広範にわたっておりますので、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)

- 飯島 一志 議員 (6ページ)**
○防災の取組、渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会について
- 堀口 きく枝 議員 (7ページ)**
○認知症への取組について
- 岩上 博志 議員 (7ページ)**
○館林市第6次総合計画における子どもの健全育成の現状について
- 平井 玲子 議員 (8ページ)**
○道路の維持管理と市営住宅について
- 柴田 信 議員 (8ページ)**
○多文化共生社会実現に向けた取組と農業振興に対する取組について
- 岡野 陽子 議員 (9ページ)**
○新たなパンデミック等の危機管理とまちなか再生に向けた今後の取組について
- 篠木 正明 議員 (9ページ)**
○学校給食を食べられない子どもたちへの対応策について
- 池森 のり子 議員 (10ページ)**
○ペットとの共生と防災対策について
- 齊藤 貢一 議員 (10ページ)**
○少子高齢化社会の今後について
- 田辺 純子 議員 (11ページ)**
○不登校児童生徒の居場所づくりについて
- 吉野 高史 議員 (11ページ)**
○市長就任から3年、選挙公約の今見えてきた多くの課題について

3月5日

3月6日

防災の取組、渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会について



飯島 一志 議員



質問 広域避難について伺います。

答弁 事前に避難する先の情報収集を行い、安全を確認した上で、どのタイミングで避難するかを普段から意識していただくとともに分散避難についても検討いただくことで、より多くの方の安全が確保できるもの

と考えています。

質問 避難所確保に向けた対策をどのように進めているのかを伺います。

答弁 当該市町村のみによる相對協議だけでは困難であると認識しており、国や都道府県等上位機関を含めた大枠で検討することが必要であると考えています。

その中で、国及び県への働きかけを行うとともに、広域避難の体制整備を推進していきたいと考えています。

質問 本市の自主防災組織の設置状況はどのくらいなのか伺います。

答弁 市内66行政区のうち62の行政区において組織が設置され、設置率は93・9となっております。

質問 組織活性化に向けた支援体制はどのようになっているのか伺います。

答弁 現在までに、自主防

災組織等による計画策定のサポート、防災訓練における費用への補助、市が備蓄している保存水や非常食の有効活用とした防災啓発品の提供、市職員による防災講話の実施など、必要とされる支援に積極的に取り組んでいます。

質問 広域避難を考える上でも、橋はなくてはならないものです。そこで、架橋促進協議会の設立の背景について伺います。

答弁 広域的な経済圏とし

ての発展だけでなく、防災面としての広域避難経路の確保、他県間の応援・受援態勢の確立などが期待できるものとされ、平成10年に本協議会が設立され、現在の構成市町は、本市、佐野市、羽生市及び明和町です。
要望 市長のリーダーシップにより、国も含めた期成同盟が早期に実現し、新橋の新設が本市と近隣自治体のさらなる発展につながる架け橋になることを強く要望します。



認知症への取組について

堀口 きく枝 議員



質問 2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されています。

答弁 認知症への正しい理解の普及、適切な保健医療、福祉サービスの提供、家族への支援、認知症の人を含む誰もが相互に支え合う共生社会の実現を掲げています。

要望 地方自治体では努力義務である認知症施策推進計画の策定への取組を要望します。

質問 認知症予防への本市の取組について伺います。

答弁 老人福祉センターを会場に運動を中心とした元気はつらつひろばや脳トレが中心の脳活ひろば等、市内各所で住民主体の通いの場事業を行っています。

要望 予防のために、高齢者を対象としたeスポーツの活用の推進とスマホを活用しウォーキングの歩数がポイント付与される健康アプリの推進を要望します。

質問 認知症の方への支援

職員配置や事故防止などの対応を踏まえ、なるべく希望者の意向に沿えるよう受け入れを調整しています。待機児童と受入れ過多は切り離せない難しい問題ですが、放課後児童クラブ側との連絡調整に努めていきます。

質問 保育料の軽減措置について伺います。

答弁 低所得者やひとり親の家庭を対象に、4つの項目を設け、月3000円を上限にした保育料の軽減措置を講じています。

について伺います。

答弁 市内4か所の高齢者あんしん相談センターに認知症地域支援推進員を配置し相談に随時応じることや、初期の方への支援として、医師を中心とした多職種連携の認知症初期集中支援チームによる医療、介護などの適切なサービスにつながる取組と認知症カフェを毎月2回、老人福祉センターで開催しています。また、認知症の方や家族を見守る応援者を増やすために、認知

症サポーター養成講座を開催しています。

要望 誰一人取り残すことのない社会の構築を目指し、特に独り暮らしの高齢者の方への支援の手を今後お願いします。

質問 本市の共生社会実現への展望を伺います。

答弁 認知症への理解が深まるよう周知啓発に取り組み、民生委員をはじめ、地域包括支援センターや警察、介護事業所等と連携し、支援体制の強化に努めます。



館林市第6次総合計画における子どもの健全育成の現状について

岩上 博志 議員



質問 放課後児童対策の現状について伺います。

な居場所づくりを努めています。

質問 すべての小学校区に民間運営の17クラブ20支援を開設しており、受入児童数については、1支援あたり40人程度であり、現在の総数は844人となっています。各放課後児童クラブでは、児童の安全・安心

質問 放課後児童クラブの待機児童の状況について伺います。

答弁 令和5年10月に実施した調査の結果では、待機児童はいませんでした。一方で、利用希望が多い放課後児童クラブにおいて、

質問 放課後子ども教室の現状について伺います。

答弁 令和5年度現在、三野谷公民館・第七小学校、西公民館・第十小学校、渡瀬公民館・第九小学校の3地区で、放課後児童クラブとの連携により実施しています。放課後子ども教室の実施時間及び方法は二部制で行っており、第一部は学校の授業が5校時で終了する低学年の児童を主な対象とし、学校の宿題、自主勉強、自由遊びの見守りを行

い、第二部は高学年の児童が加わり、全員が揃った段階で仕切り直して教室を開始していただきます。地域の方々が主体となつて実施する地域づくりを目的としているため、保護者の費用負担は原則ありません。今後の課題として、地域住民への周知を図ると同時に、指導者等の人材確保が必要と考えています。

要望 人材確保を早急にお願いしたい。





道路の維持管理と市営住宅について

平井 玲子 議員



道路の維持管理について

質問 道路河川課に寄せられる通報や要望の件数は。

答弁 過去3年間の平均、年間1000件前後で推移しています。

質問 館林市公式LINEアプリの導入で、通報手段が増えました。通報実績は。

答弁 令和5年10月から受

付を開始、令和6年2月26日時点で18件の通報がありました。

質問 本市で、道路の維持管理に包括的民間委託を導入する場合、問題点や課題は。

答弁 どの自治体も維持管理業務に関して市民ニーズの対応に苦労してお

り、今後も現行体制で持続可能かどうか、また建設業界は従業員の高齢化や後継者の確保が課題で、業務そのものの継続が危ぶまれており、双方の意見のマッチングが大きな課題です。

要望 地域における建設業はインフラの維持管理の担い手であり、とりわけ災害時には地域を守る極めて重要な役割を担っています。今後も地元の業者の意見をしつかり聞き、連携を深めながら、道路の維持管理業

市営住宅について

質問 入居条件である連帯保証人を廃止する考えは。

答弁 現時点では廃止の予定はありません。

質問 共益費を市が家賃と一緒に徴収できないか。

答弁 群馬県では住宅供給公社が管理人に代わり集金し、公益事業者へ支払いまで行う管理モデル事業を試

行しようとしています。この推移をみながら検討を続けていきたいと考えます。

要望 連帯保証人制度の廃止と、共益費については家賃と一緒に徴収する方向で検討を進めていただけるよう要望します。



多文化共生社会実現に向けた取組と農業振興に対する取組について

柴田 信 議員



質問 本市における「多文化共生社会実現に向けた取組」について問う。

答弁 本市在住の外国人住民の数は、本年1月1日現在3588人で、前年比プラス493人となり、年々増加しています。多文化共生社会実現に向けた取組についてですが、館林市国際

交流協会と連携を図りながら様々な取組を進めています。具体的には、市内3か所での日本語教室の開設や外国人の子どもたちの学習等の支援を目的とした教室「スタディルーム」の開設、日本語能力試験の受験料の一部を補助する制度の創設があります。

また、昨年度より、ロヒンギヤの方々から、地域社会に貢献したいとの申出を受けて、駅前広場や竜の井広場周辺の清掃活動を行っていたいただいています。

さらに、語学力向上と国際感覚を養うことを目的とした中学生海外派遣事業も、令和6年度から再開する予定です。

そのほか、現在、本市の小中学校には、17か国219名の外国籍児童生徒が在籍しておりますが、それぞ

れぞれの児童生徒が在籍しておりますが、それぞ

れぞれの児童生徒に個別の指導計画を作成した上で、指導や支援を行っています。一方で、担当する教員等の数が十分でないことが課題となっております。

ら9年度までの4年間、稲作に影響がない11月から3月を目安に行う予定です。大島地区については、地元土地改良準備委員会を中心に営農計画の策定を進めています。

質問 本市における「農業振興に対する取組」について問う。

答弁 野辺地区のほ場整備事業については、換地計画の原案が完成し、現在、地権者へ個別に換地計画の説明を行っています。また、整備工事は、令和6年度か

本市の農業振興を図るには、農業従事者の確保が重要と考えており、新規就農を希望する方には、就農説明会や体験会を行うとともに、国や市の補助事業を活用し、経営開始及び経営の定着を支援しています。



岡野 陽子 議員

新たなパンデミック等の危機管理と まちなか再生に向けた今後の取組について



質問 新型コロナウイルス ワクチン接種を実施して学んだことを新たなパンデミックがあった場合に、どのように生かしていくのか。

答弁 平時より医師会等関係機関との連携を図るとともに、市職員全体で対応した経験を生かし迅速に対応していきたいと考えます。

質問 日本で承認された「レプリコンワクチン」は発がん性や、接種者から未接種者へのワクチン感染を指摘する専門家がいます。安全性の担保は。

答弁 今後、変異した新たな株に対応したワクチンの臨床試験が進み、今年の秋冬接種への実用化を目指す



篠木 正明 議員



学校給食を食べられない 子どもたちへの対応策について

質問 学校給食には、食事の提供だけでなく、食育の教材、学校生活を豊かにし、

明るい社交性や協同の精神を養うなどの役割があります。食物アレルギーや宗教上の理由で通常の学校給食を食べられない児童生徒にも食育や明るい社交性や協同の精神を養うことを保障

しなければなりません。食物アレルギーへの対応の現状をお尋ねします。

答弁 食物アレルギー対応食は、令和3年度から卵の除去食をスタートしました。令和6年度からは乳の除去食を追加する予定です。調理等を委託している事業者との契約では最大7品目の

とされています。今後も国からの情報を注視します。

質問 緊急時に国が地方自治体に必要な指示を行える特例を盛り込んだ「地方自治法改正案」が閣議決定されたが、市長の見解は。

答弁 国会の動向を注視し、今回の法改正により国のサポートを得ながら迅速に対応できるといふメリットを生かし、市民の安全を確保していきたいと考えます。

要望 この改正案は、緊急事態に地方自治体が自ら動

除去食に対応できることとしていきます。7品目のうち、そばと落花生は使用を控えています。小麦、エビ、カニについては、対応品目の拡大について慎重に検討したいと思えます。

質問 対応品目を拡大する上での課題は何ですか。

答弁 万全な体制を整える人材確保や調理場の問題等の課題があります。

質問 宗教上の理由で給食を食べられない児童生徒は
何人いますか。

けず、政府の指示待ちになる可能性や感染症危機におけるロックダウン、また、「レプリコンワクチン」の強制接種といった危険性ははらんでいることを多くの市民が知るべきであるし、市長には、自治体の首長として国と地方の対等な関係が損なわれることのないように強く要望します。

質問 館林市まちなかにぎわい再生方針の策定経緯は。

答弁 第6次総合計画、都市計画マスタープラン、立

答弁 宗教上の理由で給食をキャンセルして牛乳などの一部提供となり、学校給食費を減額している児童生徒は104名です。

質問 宗教上の理由で学校給食を食べられない児童生徒には、牛乳だけの提供や弁当持参しか対応していませんが、今後、どのように対応していくのか。

答弁 食材や調味料が記載されている詳細献立での対応が実現可能か、検討したいと考えています。

地適正化計画のもと、館林駅を中心に、歩いて楽しめるにぎわいのあるまちを目指し再生方針を定めました。

質問 中央通り線拡幅工事の今後の事業計画は。

答弁 全体事業費は45億円で、今後も引き続き用地買収を行い、来年度より、用地買収完了区間において共同溝工事に入る予定です。

要望 市民は期待する反面、財政的支出を不安視する声なども聞かれます。事業の可視化を要望します。

質問 当事者が共同で対応することも考えられますが、問題は費用です。ハラル給食に対応した食材を使用すると給食費程度ではできません。不足分を市が補助する考えはありますか。

答弁 ハラル給食の提供は実現の可能性は低いというのが現状です。当事者が給食費相当の経費でハラル弁当を調達するのは難しいと思いますが、差額の補助は、今後の課題したいと思います。



ペットとの共生と防災対策について

池森 のり子 議員



ペットとの共生について

質問 飼い犬の管理などほどの部署で担当しているのか伺います。

答弁 地球環境課が群馬県獣医師会と連携を図りながら、その事務と周知啓発活動を行っています。

質問 本市で登録されている飼い犬の狂犬病予防注射

の接種状況を伺います。

答弁 本市の接種率は、令和4年度が60・5%で、全国平均の70・9%と比べ高いとは言えない状況です。

質問 ペットへの防災意識を高めるために、飼い主向け災害セミナーを開催する考えはありますか。

答弁 防災部署や県獣医師

会と連携を図りながら検討してまいります。

防災対策について

質問 災害時に必要となる物資の備蓄状況を伺います。

答弁 現在、非常食が14万食分、飲料水はペットボトルで備蓄するなど、計画的な備蓄に努めています。

質問 本市では避難所訓練を行っていますか。

答弁 地域の方を対象にした避難所訓練は、これまで3回の実績があります。

質問 ペットとの同行避難

改善に努めます。

要望 検証委員会については、戦略会議の進め方、資料の提出の仕方、委員の選考について、再度検討していくべきで、PDCAが

しっかり働く体制作りをお願いします。

質問 結婚に対しては、若者の将来に対する不安を取り除くことが重要ですが、経済的な問題として、非正規雇用が増大していることが

あります。市内の状況をどう捉えているのか、伺い

ができる体制整備の進捗状況を伺います。

答弁 市の避難情報発令判断・伝達マニュアル等の見直しを進めています。

要望 同行避難に関する取組をさらに進めていただけるよう要望します。

質問 ペット用の避難所を作る考えはありますか。

答弁 動物に係る関係機関や周辺自治体と連携しながら、先進事例等の情報収集並びに調査・研究をしていきたいと考えています。

ます。

答弁 15歳以上の非正規雇用、派遣、パート等の割合は約36%となっています。

質問 この数字をしっかりと把握しながら、事業者だけでなく、被雇用者の補助にも力を入れるよう希望します。また、単身高齢者が

増加していますが、状況を伺います。

答弁 令和2年において、3616世帯で、一般世帯に対する割合は11・5%となっています。

意見等 本市がモデル地区になることで、地域の価値や住民満足度の向上につながると思います。近隣自治体からも受入れられるよう整備し、互いに助け合うことも必要と考えます。



要望 単身高齢者の問題として、孤独死や犯罪に巻き込まれやすい等、色々な問題が発生しています。また、令和6年度より、国民

健康保険、介護保険、後期高齢者保険も増額が見える中、特に国民年金の方が暮らしに支障をきたす恐れが大いに見受けられます。国の方針に関わらず、市民が明るく、心配なく暮らしていける責務を心がけた市政運営、全世代型社会保障の充実を要望します。



少子高齢化社会の今後について

斉藤 貢一 議員



質問 総合戦略基本目標3

の結婚、出産、子育てについて、7指標あるが、執行率が14・3%となっていることについて、どのように考えているのか伺います。

答弁 子育て支援等、人口減少対策に係る取組のさらなる推進が必要と考え、今後、多くの予算を投じる考

えです。

質問 検証委員会についても、以前から指摘していたように追認機関で、事業の見直しや改善につながっていないと感じるが、今後について伺います。

答弁 県外自治体の視察を積極的に行い、情報収集に努めながら、今後も事業の



不登校児童生徒の居場所づくりについて

田辺 純子 議員



質問 不登校児童生徒の現状を伺います。

答弁 令和6年1月末現在、小学生47名、中学生113名、合計160名です。

質問 昨年度との比較増減や要因について伺います。

答弁 小学生は5名減、中学生は31名増となり、全体で26名の増加です。要因は

本人に係る状況によるものを中心で、無気力、不安が半数を占めています。

質問 中学生の31人の増加は多いし、思春期になつて

いる子どもたちの不安、無気力は成長、発達の過程であり、コロナ禍の影響等を考えると、本人自身の問題とするのは余りに酷です。



市長就任から3年、選挙公約の今見えてきた多くの課題について

吉野 高史 議員



質問 残り1年、選挙公約の進捗状況を伺う。みこしは軽くて〇〇がいい、3回シリーズの2回目、選挙公約を果たしているのか。合併問題は凍結状態になつている。これまで行政間で幾つの場合がなされたのか。

答弁 平成28年1月、板倉町長から市長へ合併協議会

の設置に向け話があり、同年4月、本市議会可決、同年6月、本市・板倉町合併協議会設立。15回協議し、全部で52の協定項目を審議し、29項目が決定された。

質問 合併協議にかかった費用と時間は。
答弁 本市1204万円、板倉町828万円です。

支援、必要な措置についての対応、現状を伺います。

答弁 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律に基づき未然防止策等工夫改善し充実に努めます。

質問 学校で行っている不登校対応について伺います。

答弁 各校長が作成した不登校対策の取組に基づいた組織的な対応、館林市不登校対応早期支援プログラム「サンクス」を活用した対応、校内の余裕教室等を活

質問 凍結に至った状況を市民に説明したのか。

答弁 15回の中で1〜3回まで参加しました。

質問 とんちんかんな答弁をしないでください。内部資料には、本市から「全

ていいとこ取りでは合併後の財政がもたない」板倉町から「館林市が3億円用意できるまで合併協議会は休止してもいい」とある。このように凍結に至っているが、どう考えるのか。

答弁 給食費の無料化が一

用した居場所の準備、ICTを活用したオンライン上での対応の4点です。

質問 不登校児童生徒の支援における課題を伺います。

答弁 不登校児童生徒が登校できても対応できる職員が限られていることなどの人的な配置や家庭の協力が得られない等が課題です。

質問 頑張つて登校した子どもたちに大人の都合で対応できないことは義務教育の学校であつてはならないし、家庭の協力は信頼関係

の要因と把握しています。

質問 本年度予算で中学3年生を給食費無料として、お茶を濁している。全て無料にしたらどうか。

答弁 合併協議に関わらず検討すべき事項です。

質問 以前、選挙公約の進捗を公開するとあつたが。

答弁 今後、ホームページ等で公開していきます。

質問 なぜ今頃公開なのか。

答弁 整合性を取りながら今後公開していきます。

質問 この3年間で、ごみ

の問題で、関係の構築に努めるべきです。学校内の相談体制について伺います。

答弁 相談体制を整備し充実するよう、市から学校へ指導し、学校では個に応じた支援策を検討しています。

質問 不登校児童生徒の居場所づくりの充実に向けて、今後の取組を伺います。

答弁 不登校児童生徒が学校内外の機関とつながり、安心できる居場所での学習機会を確保する等、選択肢を広げられるよう努めます。

の分別・資源化の状況は、どの程度進んだのか。

答弁 令和4年度から、板倉町・明和町とのごみ分別ルールの統一化を図った。

質問 資源化も聞いたが、ちゃんと答えてください。

答弁 令和5年2月に策定した館林市ごみ処理基本計画において進めています。

要望 約1億6000万円の市民の尊い税金が余計に使われている。厚生病院の負担割合を公平・平等にすることを要望する。

令和6年第1回臨時会の審議結果

令和6年館林市議会第1回臨時会は、2月13日に開かれました。
この臨時会に市長から提案された議案は2件で、審議の結果、いずれも原案のとおり、承認、可決されました。

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて(令和5年度館林市一般会計補正予算(第8号)) Ⅱ国の低所得者支援及び定額減税を補足するための給付に係る事業を実施するため、2億6459万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ336億5335万7000円とする補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

条例の改正

▽館林市手数料条例の一部を改正する条例Ⅱ地方公共団体の手数料の標準に関する

る政令の一部改正等に伴い、まず、戸籍法の一部改正により、本年3月1日から、戸籍謄本等の交付事務について本籍地以外での当該謄本等の交付事務、いわゆる「広域交付」が追加されること、次に、戸籍の届出又は申請の受理の証明書交付事務について電子化された戸籍の届書等情報の内容に係る証明書を交付する事務が追加されること等により、関係規定を整備するほか、戸籍及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行事務が創設されることにより、新たに徴収する手数料及びその額を規定するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

令和6年第1回臨時会 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名	議席番号																		結果	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
	議員名																			
	小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口きく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三		
議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度館林市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第2号 館林市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※権田昌弘議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

議員研修会を2部構成で開催

去る3月1日、講演・研修の2部構成による議員研修会を開催しました。

第1部では、館林市DX推進アドバイザーの森實佑樹氏を講師にお招きし、「館林市DX推進の取組み」と題し、DXに取組む意義について、ご講演いただきました。

第2部では、「LINEで実現するスマホ市役所」と題し、公式ラインの使用方法について、株式会社Bot Express(ボットエクスプレス)の黒澤圭氏によるオンラインでの実技研修を行いました。



第1部講演会の様子と講師の森實佑樹氏

議会傍聴者の皆様へのご願い

本会議・常任委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。手続は議会棟3階及び4階で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

【6月定例会の予定】

- 6月7日(金) 本会議 (会期の決定、議案提案説明など)
- 10日(月) 本会議 (議案に対する質疑、委員会付託など)
- 13日(木)・14日(金) 本会議 (一般質問)
- 17日(月)・18日(火) 委員会＝常任委員会 (総務文教・市民福祉・経済建設)
- 24日(月) 本会議 (表決)

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。
☆一般質問の通告順位表は、6月5日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。
(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp>⇒ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)